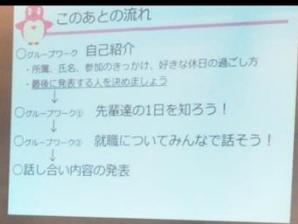


# ココロン☆ワークスペシャル 開催のご報告



平成 30 年 10 月 24 日(水曜日)、エル・パーク仙台にて、「ココロン☆ワーク スペシャル」を開催しました。ご出席いただいた皆さん、率直な意見交換をいただきありがとうございました！当日出席できなかった皆さんもぜひご覧いただき、今後の参考にさせていただければ幸いです。

## ココロン☆ワーク スペシャルとは？

人口減や少子高齢化により困難になっている障害福祉分野の人材確保と定着のための交流会。「年の近い先輩に話を聞きたい！」「他の職場の同年代の人と話したい！」と感じる学生や、障害福祉事業所の若手職員の皆さんと、日々の仕事のやりがいや、就職にあたり気になる事などについて気軽に意見交換します。仙台市で毎年開催している「ココロン・カフェ」の特別版です。



## こんな方々に参加いただきました！

合計 50 名 (6 グループで話し合い)

(内訳)

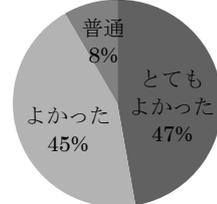
- ・障害福祉の仕事に興味のある大学生……………21 名
- ・障害福祉事業所 1～3 年目程度の若手職員… 14 名
- ・仙台市障害者施策推進協議会委員…………… 9 名
- ・仙台市職員…………… 6 名

## こんな流れで進みました！

### グループワーク①「先輩達の1日を知ろう！」(30分間)

障害福祉事業所の若手職員の皆さんに 1 日のスケジュールを発表いただき、グループの皆さんで意見交換しました。若手職員の皆さんは、仕事により全く異なる 1 日の過ごし方や職場の雰囲気等を話し合い、苦労ややりがいを共有しました。学生の皆さんは、仕事だけでなく、日常生活の部分も含めた先輩の話に聞き入り、質問しました。

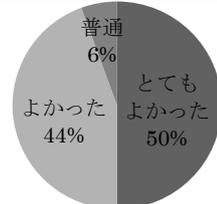
### 【アンケート結果】グループワーク①はどうでしたか？



### グループワーク②「就職について皆で話そう！」(30分間)

学生の皆さんに、進路を選ぶ上で気になることについてご質問いただき、意見交換しました。仕事に関する話題以外にも、「1 年目で休暇は取得できたか？」「残業はあるか？」「朝早い時間からの勤務か？」「働き続けるには何か大事か？」など、働き方やライフスタイルに関する話題で各グループ盛り上がりしました。

### 【アンケート結果】グループワーク②はどうでしたか？



<話し合いの内容は裏面をご覧ください>

## こんな内容が話し合われました！

最後に、話し合いの結果を6つある各グループの代表者に発表いただきました。発表内容を含め、実際に話し合われた内容の一部をご紹介します。

家族や友人など、身近に障害がある人がいたので、障害福祉分野の就職を希望する学生が多いという事を知れました。(若手職員)

給料や休みの話題がたくさん出たので、みんな現実的だなと思いました。(学生)

最終的には福祉の仕事には答えがないという話になりました。そして、答えがないからこそ福祉の仕事は面白いのではないかと感じました。(学生)

人間は好不調の波があるもの。失敗したり落ち込んでい  
る人がいた場合、「そういう時もあるよ」と理解し合う  
職場だと、楽しく仕事ができるので、皆でそんな職場を  
作っていきたいという話になりました。(学生)

今時の学生さんがどんなことを考えているのか知る機会  
がなかったので、それを知れてよかったです。(若手職員)

施設の利用者さんと関わるだけでなく、施設の職員を支  
え、福祉の社会資源を育てていくという関わり方がある  
ということ先輩の話から知れました。(学生)

施設利用者の送迎の話題になった時、「送迎車にマニュアル  
車はあるか。」という質問が出ました。学生にとって実  
は気になる点ですが、なかなか聞けるような場面がなか  
ったので、この場で聞いて良かったです。(学生)

他の職場での若手職員の1日の流れや、学生さん達の「福  
祉」への考えが聞いて良かったです。(若手職員)

「残業が多そう」「朝早そう」というイメージがありま  
したが、先輩の話聞いて、必ずしもそうではないとい  
う事が分かり安心しました。他の業種とあまり変わらな  
いのではないかと感じました。  
一方、利用者の体調次第ではその日の支援内容がガラッ  
と変わるというのが、大変な点だと思いました。(学生)

利用者を運ぶためのリフターが導入されるなど、  
職員の負担軽減のための対応もしっかりなされて  
いるという話を先輩から聞きました。(学生)

事業所の雰囲気は職員間のやりとりの様子で分か  
るという話があり、なるほどと思いました。(学生)

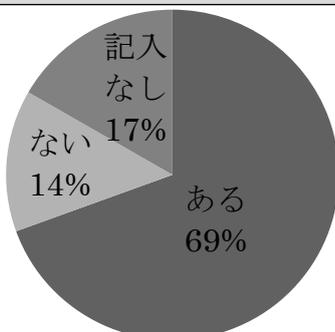
職場に嫌な人はいないかという質問が出ました。  
色々な意見が出ましたが、結局は職員間での人と  
人との付き合いも大事なのだなと感じました。(仙  
台市職員)

国家試験の勉強の仕方を教えてもらえてよかったです！(学生)

先輩職員の皆さんはそれぞれプライベートの楽しみを持って  
おり、充実していると感じました。(学生)

「仕事を続けていく上では、仕事と家庭以外の『第3の居場  
所』があるといい」という先輩からのアドバイスが印象的  
でした。リフレッシュできる場があると、辛いことがあっても  
乗り越えられるというもので、仕事以外も大事なんだなと感  
じました。グループでは、例として、自然と触れ合ったり音  
楽鑑賞をしたり、体を鍛えるなどの意見が出ました。(学生)

【アンケート結果】本イベント参加前に気になっていた  
悩みや疑問で、今回解決した点はありますか？



## 開催を終えて

今回、仙台市としてこのようなイベントを初めて開催させていただきました。皆さんの障害福祉の仕事に関する気になる事や、日頃の仕事のやりがい・悩みの共有に役立つ部分があれば幸いです。

障害福祉分野の人材確保・定着を進めるには、継続的な取り組みが必要です。今回分かったニーズやいただいたご意見をもとに、これからのような取り組みが必要か検討してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

<作成> 仙台市障害企画課  
<FAX> 022-223-3573

<電話> 022-214-8163  
<メール> fuk005330@city.sendai.jp